

## 水産物の市況について(令和3年9月及び令和3年10月)

—東京都中央卸売市場における令和3年9月(令和3年8月21日～令和3年9月20日集計)の市況と、  
令和3年10月の市況見通し(前月との比較)—

### I 令和3年9月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月より増加し、前年同月比よりやや減少しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からやや弱含みで推移し、前年同月比では横ばいで推移しました。

### II 令和3年10月の主要品目の市況見通し

#### 「まいわし(生鮮品)」

まき網では引き続き鮮魚サイズの漁獲が少ないことから、東京への入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

#### 「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量は銀ざけ主体に横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

#### 「さば(生鮮品)」

まき網での漁獲は低調な状態が続くと予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

#### 「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

全国的に漁獲は低調な状態が続くと予想され、生鮮物の東京への入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。冷凍物は、ロシア産などの輸入もあり、入荷量はやや増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

#### 「あじ(生鮮品)」

低調な水揚げが続くと予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

#### 「まぐろ(冷凍品)」

緊急事態宣言が解除され、外食需要は徐々に回復すると見込まれます。東京への入荷量はやや増加し、卸売価格は冷凍めばち・きはだを主体に横ばいで推移すると見込まれます。

#### 「かつお(生鮮品)」

漁期終盤で水揚量が徐々に減少することから、東京への入荷量はやや減少するものの、例年より入荷量は多いと見込まれ、卸売価格は安値・横ばいで推移すると見込まれます。

#### 「さんま(生鮮品)」

漁期が進むにつれて東京への入荷量はやや増加すると見込まれるものの、水揚げが低調なことから、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

#### 凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

**東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)**

(単位:千トン、円/kg)

	9月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
3年	28	1,093	26	1,155	30	1,091
前年	30	1,069	28	1,078	29	1,067

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

**主要品目の価格**

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	9月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	594	116	116	151
さけ類(平均)	1,046	116	127	109
(ぎんざけ塩蔵品)	952	105	124	101
(あきさけ塩蔵品)	591	59	76	64
(べにざけ塩蔵品)	1,293	100	90	100
(さけ類冷凍品)	1,064	120	135	117
さば(生鮮品)	482	106	111	95
するめいか(平均)	986	110	126	127
(生鮮品)	1,006	113	126	130
(冷凍品)	920	100	132	117
あじ(生鮮品)	502	85	80	85
まぐろ(冷凍品)	1,666	106	130	111
(めばち冷凍品)	1,229	102	139	112
(きはだ冷凍品)	1,048	101	125	109
(くろまぐろ冷凍品)	3,229	106	108	99
(みなみまぐろ冷凍品)	1,864	98	113	94
かつお(生鮮品)	271	68	42	45
さんま(生鮮品)	1,129	109	83	142

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:9月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成28年~令和2年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 贄田、西村

直通 03-3591-5613